

付屬推薦・指定校推薦出願状況

高3は現在基礎学力到達度テストの結果が出ただけでなく、出願先も決定している状況です。現時点での付属推薦の出願状況をまとめました。

今年度までの基礎学力到達度テストの結果を受けて、各受験生が自分の希望する学科に出願しますが、基礎学力選抜については、志望学科選定の際の判断材料として、各学科における過去の最低通過順位を参考にしました。その結果、大学出願前の選抜に当たる「セレクション」を経て、以下の表のような通過者の数となっています。今年度のセレクションでは、多くの者が希望する学部・学科に通過できた(第一志望または第二志望)という印象があります。また付属特別選抜の豊山幹については、校内での成績をもとに校内選考を経て選抜されました。

付属推薦での日本大学への出願者の割合は、約73%となっていて、法学部と理工学部の人気は変わっていないようです。今年度は経済学部の出願者数が昨年度よりも10名以上増えました。

	基礎学力	付属特別	国公立併願	合計
法	42	15	0	57
法(二部)	3	3	0	6
文理	31	3	—	34
経済	39	25	0	64
商	25	11	0	36
芸術	4	2	—	6
国際関係	0	0	0	0
危機管理	8	2	—	10
スポーツ科	2	0	—	2
理工	38	39	0	77
生産工	6	14	0	20
工	0	1	0	1
医	0	0	—	0
歯	1	0	—	1
松戸歯	0	0	0	0
生物資源科	21	5	0	26
薬	2	0	1	3
短大三島	0	0	—	0
短大船橋	1	0	—	1
合計	223	120	1	344

各学部の人数で「0」は出願者がいないことを表し、「-」は学部がその方式を採用していないことを表しています。

〈指定校出願校〉



上智大学、明治大学、明治薬科大学、立教大学、中央大学、法政大学、学習院大学、東京理科大学、芝浦工業大学、東京経済大学、東京国際大学、東京電機大学、東京都市大学、東京農業大学、東洋大学、明治学院大学、千葉工業大学、武藏大学など

指定校についても出願生徒が順次決定しています。校内での成績をもとに、希望者の中で10月2日(水)と15日(火)に校内選考が行われました。今年度はこれまでの選考において、73名の希望に対して50名が通過しました。また、指定校推薦は進学クラスや体育クラスのみならず特進クラスも希望できますが、実力があり総合序列の上位にいる生徒が人気校に通過するケースが多いです。また、希望者の数は昨年よりも33名減っています。付属推薦以外の他大学の総合型選抜や公募推薦にも挑戦している生徒がいるからではないかと推測できます。今年度は昨年度同様に年内で合格を勝ち取りたいという生徒が多いようです。

指定校推薦というのは、各大学の判断で本校に推薦枠を割り当てて頂いているものですので、校内選考を通過した生徒はこれまでの先輩以上の頑張りを期待します。

今後は、11月上旬を中心に出願が行われ、その後各大学での選考を経て合否が決定する予定です。

指定校推薦で気をつけること

本校は非常に多くの大学・専門職大学・専門学校等から指定校推薦の枠をいただいている。今年度の高3は、現在のところ50名が指定校推薦で進学先を決めようとしています。高1・2で指定校推薦での進学を考えている人もいると思いますが、いくつか注意点があります。

1. 出願条件に達していなかった。

指定校推薦の出願条件として「評定平均値」を認識している生徒も多いと思います。ただし、それだけではない大学等も多いです。「欠席日数」や「資格取得（特に英検が多い）」、特殊なところでは「オープンキャンパスに参加した」「課外活動の実績がある」なども。同じ大学であっても学部や学科で出願基準が異なることがあります。慎重に確認する必要があります。条件に達していない場合には出願することはもちろん、校内選考にエントリーすることすらできません。条件は毎年見直されるものなので、自分がエントリーする際に必ず確認しましょう。

2. 必ず合格するわけではない & 枠がなくなることがある。

指定校推薦は高校と大学等との信頼関係で行われるもので、原則として不合格になることはほとんどありませんが、100%合格ではないのも事実です。面接や小論文などの対策はしっかりと行いましょう。また、指定校推薦で進学した場合、その人の大学での学習態度や成績等が悪いと、翌年度から指定校推薦の枠がなくなってしまうことがあります。後輩のためにも「学校を代表して」進学したという責任をもった学生生活を送ってください。

3. 校内選考通過後は辞退できない！

校内選考通過後は必ず入学まで進んでもらうことになります。また、他の推薦と同時進行することもできないので注意してください。

調査書について知っておこう

皆さんには、大学を受験する際に必ず大学に提出しなければならない「調査書」が、どのような書類なのかを知っていますか?「厳封」状態での提出を大学が求めている書類であるため、受験生本人が实物を目にする機会はありません(受験生が勝手に開封したら、その調査書は無効となってしまいます)。そこで、今回は調査書の主な記載内容を以下に紹介したいと思います。

【調査書の主な内容】

- 各教科・科目等の学習の記録
(学年別・科目ごとの5段階評定と修得単位数)
 - 評定平均値(全科目/教科ごと)
 - 学習成績概評(高校3年間の成績をA～E段階で表したもの)
 - 「総合的な探究の時間」で取り組んだ内容と評価
 - 特別活動の記録
(生徒会活動(生徒会役員や各委員会), クラス内での係分担, 部活動, 学校行事の役員など)
 - 指導上参考となる諸事項
(「学習における特徴等」「行動の特徴, 特技等」「部活動, ボランティア活動, 留学・海外経験等」「取得資格・検定等」「表彰・顕彰等の記録」という観点で記される)

3年間の記録なので、高1・高2での評定や欠席日数も大学側に伝わることになります。3年間、積極的に学校生活を送ることができれば、より内容の充実した調査書が完成することでしょう。なお、調査書は担任の先生だけなく、多くの人が作成のためにかかわって完成しますので、即日の発行はできません。遅くとも必要になる日の10日前には申し込むようにしましょう。

高3 面接指導講演会

推薦入試を利用して受験をしている高3は10月31日現在、志望理由書などの出願書類の作成が終わりに向かっているところかと思います。この後にはそいつた出願書類をもとに各大学・学部での面接試験が待っています。

本校では面接対策として、実際に面接を受ける予定のある高3の生徒に参加してもらって作成した「面接指導講演会」の動画を高3対象に配信しています。高3の生徒は例年、この動画を試験の日まで繰り返し視聴してから面接試験に臨んでいます。今回はその動画の一部を記事として紹介したいと思います。

面接といいものも最終的には人間同士の会話なので、全てを想定して準備することはできませんが、ある程度の「型」は必要です。その「型」をもとに自分の将来や大学での計画を話せるようにしましょう。



入室のマナーからお辞儀の角度まで、動画の中で解説もらっています。自分の1m50cm先に向かって、頭だけでなく腰から曲げるなど、お辞儀一つとっても細かくポイントを教えていただいています。

模擬面接という形で面接官とのやり取りも再現されています。高3は当然ですが、大学で何をやりたいのかは具体的に堂々と話せるように準備したいですね。



共通テスト確認はがき

大学入学共通テストの出願は10月8日(火)に締め切られました。本校からは69名が出願し、10月17日(木)、共通テスト確認はがきが届きました。これは、大学入センターに受験する生徒69名全員の出願が無事に受理されたことを示しています。また、志願票のコピーと照らし合わせて、出願時の登録内容と確認はがきの記載内容に誤りがないかを確認しました。

- ①住所等に関わる部分 …… 氏名、住所、性別等
- ②履修課程に関わる部分 …… 新課程、旧課程
- ③登録教科等に関わる部分 …… 登録教科、検定料

志願者に対して、10月25日(金)に「確認はがき」を配布し、出願時の志願票のコピーを使って確認してもらいました。登録内容に訂正がある場合は、下のように受験案内の各ページにある訂正欄に記入して、学校で取りまとめて11月1日(金)までに送付します。必ず生徒本人が確認して、訂正が必要な場合は、まず担任に申し出ましょう。

受験票は、12月16日(月)までに学校に届く予定です。受験案内のリスニングや試験のページをよく読んで、試験当日まで勉強に励んでください。

C 出願後 【P31】

新規登録者用 大学入試センター National Center for University Entrance Examination

○ 全ての登録内容を必ず確認

○ 表示に誤りがある場合や受験教科等を訂正する場合、各訂正欄を提出

住所等

履修課程

登録教科等

19

実用英語技能検定について

昨年度の入試において、英語の外部検定を利用した大学数は約460校になりました。2017年の制度導入から、外部検定を利用する大学数は増加の一途をたどっています。一般選抜においては国立大が全体の約22%、私立大は全体の約45%が利用、総合型・学校推薦型選抜においては国立大が全体の約60%、私立大は全体の約54%が利用をしています。この中でも、数多くの大学が利用可としている外部検定は、豊山生にも馴染みのある実用英語技能検定です。他にもGTEC CBTやTEAPは多くの大学で利用可とはなっているものの、昨年度の受験生はほぼ英検で受験しているそうです。(データは旺文社より)

英検を入試で利用する場合、①出願要件になっている②合否判定に利用するという2つの利用方法があります。①については、各大学の示す検定級を取得している、もしくは基準を満たすスコアを持っていることで出願が可能になるという意味です。例えば、法政大学グローバル教養学部(資格利用方式)では準1級、東京理科大学全学部(グローバル方式)ではCSEスコア1400以上が条件になっています。②については所持している級、CSEスコアに応じて個別試験(英語)の得点に加点、もしくは換算するという意味になります。例えば、千葉大学教育学部(前期)ではCSEスコア2180以上で個別試験(英語)にて満点を上限に20~30点を加点してくれます。

このように英検を受験し、各大学が指定している検定級やスコアを所持していると、入試を有利に進めることができますので非常に重要です。しかし、英検は受験できる回数が決まっています。実施されるのは年に3回しかありません。ここで便利なのが、「英検S-CBT」です。従来型の英検とは異なり、4技能を1日で測ることができます。実施日は「原則、毎週土曜日」になります。部活動などの予定を踏まえながら受験することができるので、是非とも活用してください。そして、入試を有利に進められるようにしましょう。



11月の進路行事

- | 月 | 日 |
|------------------|------------------|
| 11月9日(土)~24日(日) | 各学部付属推薦選考日(高3) |
| 11月21日(木)~26日(火) | 一般選抜受験生徒三者面談(高3) |



高3の付属推薦は、学部や方式によっては書類選考だけの場合もありますが、原則として面接、学部によっては事前小論文や実技、模擬授業があることがあります。下表に日程を掲載しておきますので、十分な準備をして臨んでください。また、最新年度(昨年度)の受験生アンケートをロイロノートで閲覧ができるようにしています。過去4年目以前のアンケート結果は、進路相談室の棚にありますので、各自閲覧ができます。その際は担任に閲覧の申し出をしてください。

学 部	選考日	合格発表	手続締切
法	11/17	12/2	12/13
文理	11/16	12/2	12/16
経済	—	12/2	12/16
商	11/16	12/2	12/16
芸術	11/24	12/2	12/13
国際関係	11/16	12/2	12/13
危機管理	11/17	12/2	12/12
スポーツ科	11/17	12/2	12/12
理工	11/16	12/2	12/16

※経済学部は「書類審査と事前課題」で選考する。

学 部	選考日	合格発表	手続締切
生産工	11/17	12/2	12/13
工	11/16	12/2	12/18
医	11/16	12/2	12/9
歯	11/16	12/2	12/9
松戸歯	11/16	12/2	12/9
生物資源科	11/23	12/2	12/12
薬	11/16	12/2	12/16
短大三島	11/16	12/2	12/18
短大船橋	11/9	12/2	12/13

追加募集については、基礎学力選抜の合格発表後(12/2)に各学部で行われます。ただし、実施の有無については基礎学力選抜の募集人員を充足しなかった学部学科がある場合に限り各学部が実施の判断を行います。また、基礎学力選抜の3回目という位置づけになり、2回目までのセレクションの最低通過順位を超えている生徒のみがエンブリーの対象となります。



次回12月号は、11月末に発行予定です